

3 / 1 2 (火) の行事

報道発表資料の配付日時 3月8日(金) 15時00分

発表項目 (行事名)	ヒグマ対策防除技術対応実践研修会の開催について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>この度、次の日程でヒグマ対策防除技術対応実践研修会を開催しますのでお知らせします。</p> <p>この研修会は、日頃からヒグマ対策を担う市町村職員等を対象に、防除技術や、実践に生かす対応方法を取得していただくことを目的に開催するものです。</p> <p>また、近年、ヒグマと人の距離が近くなり、増えた軋轢が社会問題になっていることから、本研修会を、道民の皆様にもヒグマ対策の現状を御理解いただく機会とし、参加を募集するものです。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>日時：令和6年(2024年) 3月12日(火) 13:30~16:00 場所：旭川市神居町雨紛 旭川市農業センター(花菜里ランド) ホール 内容：別紙、開催要領のとおり 募集定員：15名 参加申込：3月11日(月) 17:00までに申し込みください。 申込先：上川総合振興局環境生活課自然環境係 電話番号 0166-46-5922</p>		
参考			

報道(取材)に当たってのお願い	<p>関心のある方々に御参加いただきたいと考えておりますので、事前の報道と、ぜひ当日は取材いただき、研修の様子の報道もよろしくお願いたします。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当 (連絡先)	上川総合振興局保健環境部環境生活課長 太田 剛 TEL 0166-46-5128 内線 2950
-------------	--

ヒグマ対策防除技術対応実践研修会開催要領

1 目的

ヒグマによる農業被害は増加傾向にあり、また、近年は郊外型の公園に侵入するなど、人とのあつれきが深刻な状況になっている。

ヒグマの侵入を防ぐ手段としては、電気柵などが知られているが、正しい方法で設置しなければ有効な効果を得られない。また、被害現場ではヒグマの痕跡等を見極め、出没個体の雌雄や大きさ、行動を予測し、場面に応じた対策を講ずることも必要である。

また、担当者には、ヒグマの生態に関する知識や防除方法の取得のほか、被害農家への丁寧な説明、捕獲従事者に対する適切な指示など高いコミュニケーション能力を養うことも大切になってくる。

日頃からヒグマ対策を担う市町村職員等を対象に、防除技術や実践に生かす対応方法を学ぶ機会として本研修を開催する。

2 開催日時・場所

日時：令和6年3月12日（火）13：30～16：00

場所：旭川市神居町雨紛 旭川市農業センター（花菜里ランド）ホール

3 開催内容

- | | |
|---|-----|
| (1) 講話：ヒグマ対策で重要なこと～知る・考える・行動する～ | 40分 |
| 講師：橋口城児氏（旭川市職員・前ヒグマ対策担当者） | |
| 内容：ヒグマ対策の担当者として知っておくべき事柄、現場調査のポイントや結果から導かれる対策、被害農家や捕獲従事者との関わり方など。 | |
| (2) 講話：すぐ隣に来ているヒグマ～旭山動物園からの提言～ | 40分 |
| 講師：坂東元氏（旭川市旭山動物園園長） | |
| 内容：昨年、旭山動物園の周辺でヒグマの出現があり、動物園への侵入防止対策として電気柵設置を実施した概要。人の生活圏にヒグマが接近していることに対して提言など。 | |
| (3) 質疑応答 | 20分 |
| (4) 実技：研修参加者を対象とした電気柵の設置体験 | 40分 |
| 講師：神武海氏（サージミヤワキ） | |

4 参加対象

管内市町村の鳥獣対策担当者・農協職員等、上川総合振興局関係課職員

※関心のある市民であれば傍聴可能とする。事前申込みとし、市町村職員や農協職員の参加状況によっては定員数を設ける。（ホームページ等による周知）